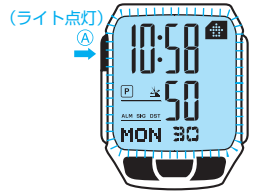
ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓐボタンを押すと文字板が約 1.5 秒間発光します。
➠暗いところでも、表示を見ることができます。

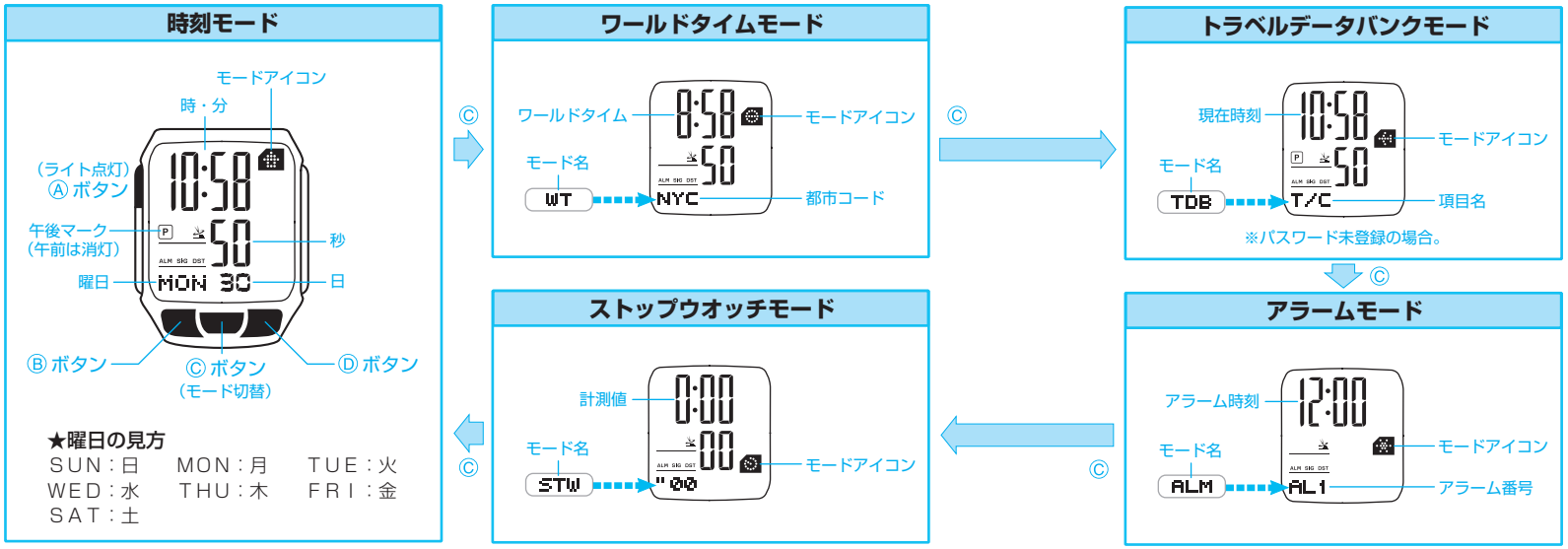


ご注意

- ●直射日光下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

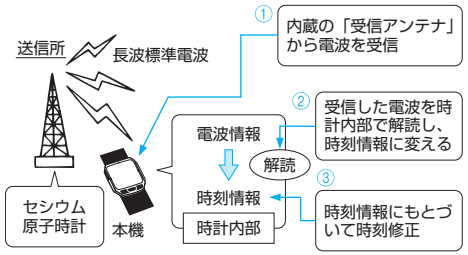
Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※トラベルデータバンクモード、アラームモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

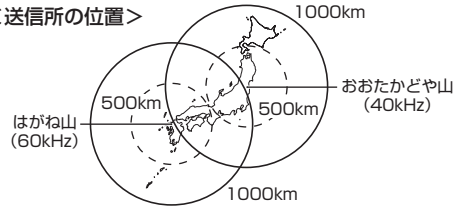
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

＊ ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

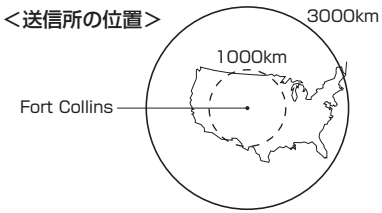
ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。


ビルの中およびその周辺
（ビルの谷間など）


高圧線、架線の近く


乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）


家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）


電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそばなど）


山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

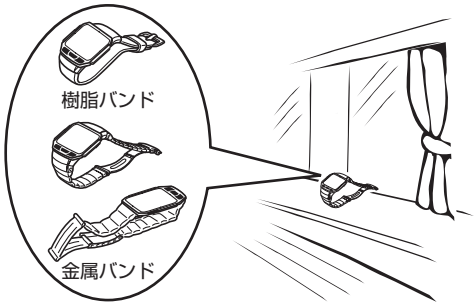
受信方法には、以下の２種類があります。
1 自動受信（午前12・1・2・3・4時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※自動受信が一度も成功しなかった場合のみ午前5時に受信を行ないます。

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～６分です。

※ただし、受信電波の設定で「A/T（自動選局）」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

＊ 受信電波の設定については「■受信電波の設定」参照。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを約２秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は“RC!”が点滅して、受信マーク“”が変化します。

★受信を中止するときは

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

※受信中は Ⓓ・Ⓑ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。

※受信マーク“”が点灯します。

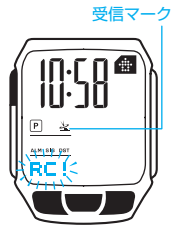
★受信が失敗すると

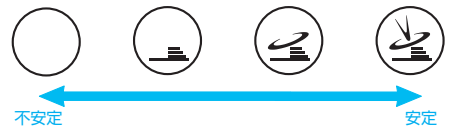
時刻修正は行なわれず、“ERR”を表示します。

※何も操作をしないと、2～3分後時刻モードに戻ります。

●受信マーク

受信中は受信状態によって受信マークが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

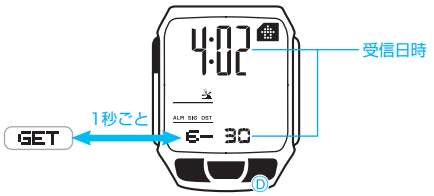
●受信マークは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※時刻モードに戻すには、もう一度 Ⓓ ボタンを押します。
※何も操作をしないと、2～3分後時刻モードに戻ります。



ご注意

●本機は「時·分·秒」と「年·月·日」の情報を受信しますが、電波状況により「時·分·秒」のみ受信する場合があります。
●"📡" マークは「時 · 分 · 秒」と「年 · 月 · 日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時 · 分 · 秒」のみ受信したときは点灯しません。

「時 · 分 · 秒」「年 · 月 · 日」を受信	📡 点灯する
「時 · 分 · 秒」のみ受信	📡 点灯しない

●「時 · 分 · 秒」のみ受信した場合、受信日時の確認で表示される月日は、受信時に時刻モードで表示していた月日となります。

■受信電波の設定

自動受信の ON ／ OFF を切り替えることができます。
なお、ホームタイム都市を TYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ(時刻·カレンダー)の合わせ方」参照。

※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝ TYO（東京）、受信電波＝ A ／ T（自動選局）」でセットされています。

1. 受信日時を表示させる

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

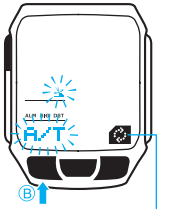
➡受信日時を表示します。
※ 何も操作をしないと、2～3 分後時刻モードに戻ります。



2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約 2 秒間押します

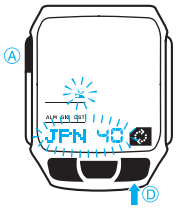
➡表示が点滅して、受信電波の設定になります。



3. セットする

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒶボタンを押して、受信電波をセットします。



4. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、受信日時表示に戻ります。
※ 時刻モードに戻すには、Ⓓ ボタンを押します。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



★ホームタイム都市が TYO の場合

●A ／ T 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
●JPN 40 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。
●JPN 60 「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。
●OFF 自動受信は OFF になります。

★ホームタイム都市がLAX、DEN、CHI、NYCの場合

●ON 自動受信は ON になります。
●OFF 自動受信は OFF になります。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼 · 夜）などによってうまく受信できないことがあります。
●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。
●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
●本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

原因：·時刻モード以外のときは、手動受信はできません。
·ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAX以外のときは、手動受信はできません。

処置：·手動受信は時刻モードで行なってください。
·ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX のとき、手動受信を行なうことができます。「ホームタイムデータ(時刻·カレンダー)の合わせ方」からの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに"📡"マークが消えている

原因：·"📡" マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
·一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前 3 時に消えます）。
·"📡" マークは「時 · 分 · 秒」と「年 · 月 · 日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時 · 分 · 秒」のみ受信したときは点灯しません。
·自動受信のとき、時刻モードまたはワールドタイムモード以外のモードになっていた。
·手動で時刻修正をすると、"📡" マークは消えます。

処置：·電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
·「受信成功」しやすい環境で使用してください。
·自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：·サマータイムがONになっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：·1時間進んでいるとき（DSTマーク点灯）はサマータイムがONになっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。「ホームタイムデータ（時刻·カレンダー）の合わせ方」からの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換時には、以下の内容でセットされています。

受信電波	A/T	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選局
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	A/T	電波受信による自動切り替え

ワールドタイムの使い方 Ⓒボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」はホームタイム（基本時刻）の「秒」に連動しています。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24 時間制で表示されます。

ご注意

ワールドタイムが合っていないときは、ホームタイムおよびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* ホームタイムデータの合わせ方については「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進みます。各都市の時刻を表示します。

※押し続けると早送りします。なお、マーキング機能をONに設定しているときは、マーキング都市のみ表示していきます。



■マーキング機能について

マーキング機能をONに設定すると、設定した都市のみサーチすることができます。
よく利用する都市を呼び出すときに便利です。

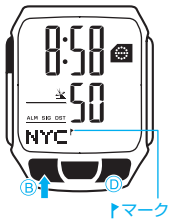
●マーキング機能のON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとにマーキング機能のON／OFFが切り替わります。

※マーキング機能をＯＮにすると、▶マークが点灯します。



●マーキング都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押し続けます

➡マーキング機能をONに設定した都市コードのみ表示しますので、見たい都市を選びます。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

●サマータイムのON／OFF設定

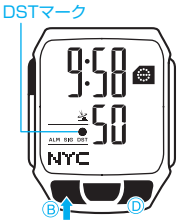
準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡Ⓑ ボタンを約２秒間押すごとにサマータイムのＯＮ／ＯＦＦが切り替わります。

※サマータイムをＯＮにすると、DST マークが点灯して、通常の時刻より１時間進みます。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“GMT”表示のときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

コード	都市名	時差
---		−11
HNL	ホノルル	−10
ANC	アンカレジ	−9
LAX	ロサンゼルス	−8
DEN	デンバー	−7
CHI	シカゴ	−6
NYC	ニューヨーク	−5
CCS	カラカス	−4
RIO	リオデジャネイロ	−3
---		−2
---		−1
GMT	グリニッジ標準時	±0
LON	ロンドン	±0
PAR	パリ	+1
BER	ベルリン	+1
ATH	アテネ	+2
CAI	カイロ	+2

コード	都市名	時差
JRS	エルサレム	+2
JED	ジェッダ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
SEL	ソウル	+9
TYO	東京	+9
ADL	アデレード	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12

※この表は2002年12月現在作成のものです。

※時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

トラベルデータバンクの使い方 Ⓒ ボタンを押して、トラベルデータバンクモードにします。

トラベラーズチェック、免許証、パスポート、クレジットカード、滞在先、緊急連絡先、フリー（４件）のデータを１件あたり最大31文字までメモリーできます。４桁の番号を入力しないと操作を行なうことができないパスワード機能があり、他人に見られたくないデータ保存に便利です。

※トラベルデータバンクモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。なお、パスワードを登録している場合は、パスワード入力表示となります（「●パスワードの入力」参照）。

■データのサーチ

トラベルデータバンクモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わります。項目名を表示後、入力されているデータを表示します。

※押し続けると早送りします。

※項目名、データとも４文字以上のときは、先頭の３文字を１秒間表示後、右から左へ流れて表示されます。最後の３文字を約１秒間表示した後は、再び先頭の３文字に戻ります。（スクロール表示）



■データの入力

1. ページを選ぶ

トラベルデータバンクモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

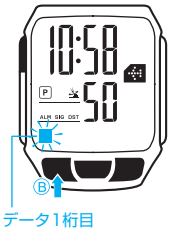
➡Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わりますので、設定したいページを選びます。



2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡データの１桁目が点滅します。

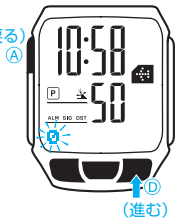


3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



★入力できる文字について

(空白)
数字 …… ０～９
記号 …… ＿／！．：’ ” （） －
英大文字 …… Ｚ～Ａ

4. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に１つ移動します。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。



ⒹまたはⒶボタンを押して文字を選び、Ⓒボタンを押して桁を移動させる操作を繰り返して、データを入力します。

※データは１件につき最大 31 文字まで入力できます。

5. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

●項目名、データとも４文字以上のときはスクロール表示となります。ドット表示部は文字の間に隙間を設けてありますので、スクロールしたときに文字表示が途切れて見えることがあります。

■データの修正／消去

1. Ⓓボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡データの１桁目が点滅します。

3. データを修正／消去する

●データ修正 ➡Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、ⒹまたはⒶボタンを押して正しい文字を表示させます。

●データ消去 ➡Ⓓ ボタンとⒶ ボタンを同時に押します。“CLR”表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. 修正／消去が終わりましたら、Ⓑ ボタンを押して点滅を止めます

■パスワード機能について

●パスワードの登録（パスワード機能の設定）

1. パスワードセットのページにする

トラベルデータバンクモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

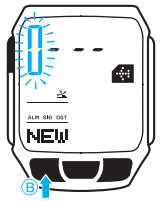


2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡パスワードの１桁目が点滅します。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります（この場合、パスワードは登録されません）。



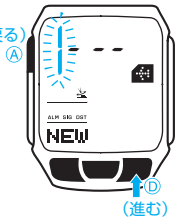
3. パスワードを入力する

a. 数字を入れる

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



b. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に１つ移動します。

※数字を入力してから桁を移動させてください。



ⒹまたはⒶボタンを押して数字を選び、Ⓒボタンを押して桁を移動させる操作を繰り返して、パスワードを入力します。

4. 登録をする

４桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡“SET”点滅後、パスワードセットのページに戻り、登録完了です。

※4桁の番号を入力後、Ⓒボタンを押さないとパスワードは登録されません。

※パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再びトラベルデータバンクモードに戻ると、パスワード入力表示となります。

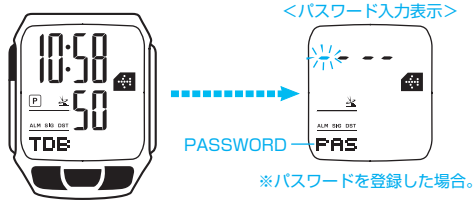


■ご注意■

パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

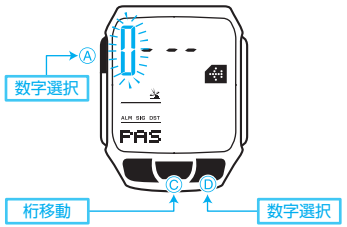
●パスワードの入力

パスワードを登録すると、トラベルデータバンクモードに切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。



1. パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、ⒹまたはⒶボタンを押して数字を選び、Ⓒボタンを押して桁を移動させる操作を繰り返して、登録したパスワードを入力します。



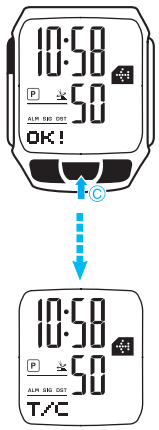
※数字を入力してから桁を移動させてください。

2. 4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡パスワードが合っているときは、“OK！”表示後、データを表示します。

➡パスワードが間違っているときは、“NG！”表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。



※パスワードが合っている場合。

●パスワードの変更

一度登録したパスワードは、変更することができます。
※パスワードを変更しても、データに影響はありません。

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。



2. セット状態にする

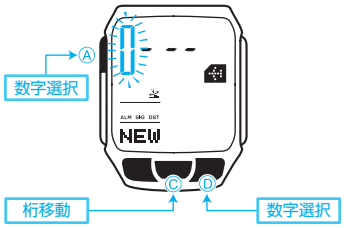
Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡パスワードの１桁目が点滅します。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



3. 新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、Ⓓ または Ⓐ ボタンを押して数字を選び、Ⓒ ボタンを押して桁を移動させる操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します。



※数字を入力してから桁を移動させてください。

4. 変更をする

4 桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡“SET”点滅後、パスワードセットのページになり、変更完了です。



●パスワードの消去（パスワード機能の解除）

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ ボタンを押します

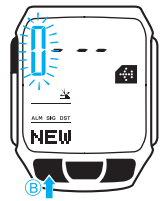
➡Ⓓ ボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。



2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

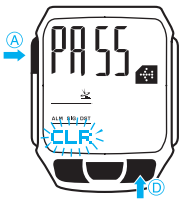
➡パスワードの１桁目が点滅します。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



3. パスワードを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓐ ボタンを同時に押します

➡“CLR”表示後、パスワードが消去されます。



アラーム・時報の使い方

Ⓒボタンを押して、アラームモードにします。

時分を設定できるアラームが５本あり、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

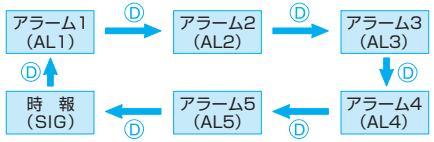
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

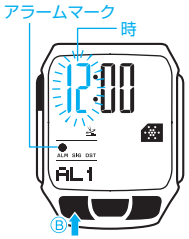




2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

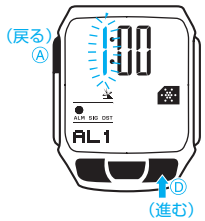
➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームがONになります。



3. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。



※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※「時」のセットのとき午前／午後（P）または24 時間制（24）にご注意ください。
※ ホームタイム（基本時刻）を24 時間制にしているときは、アラーム時刻も24 時間制で表示されます。

4. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓐ ボタンでセットします。



5. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

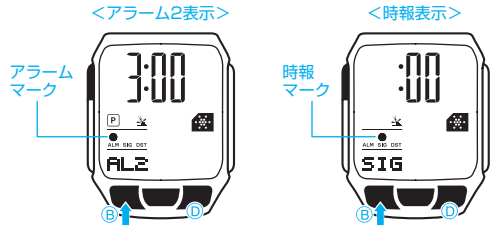
➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム（AL1 ～ 5）を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示（SIG）を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとにアラームまたは時報のON／OFFが切り替わります。
※それぞれのマークが点灯しているときがON となり、アラーム・時報が鳴ります。



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方 Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット
└スプリットタイム表示┘

●1・2 着同時計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

●計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後 Ⓑ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。
※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約 2 秒間押します

➡都市コードが点滅します。



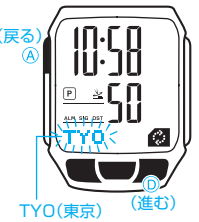
2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

*「■都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

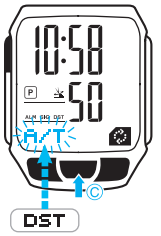


3. 「サマータイム切替」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの切り替えになります。

※ “DST” を表示後、設定内容を表示します。



4. 切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



●A／T
電波受信により、自動的にサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※ホームタイム都市が TYO のときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAX のときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。

●OFF
サマータイムは OFF になります（通常時間）。

●ON
サマータイムは ON になります（夏時間）。
※DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

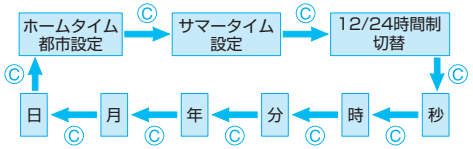
※ホームタイム都市が HKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL 以外のときは、「OFF」⇔「ON」で表示が切り替わります。

5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





b. **Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します**

➡Ⓓ または Ⓐ ボタンで点滅箇所をセットします。

★「12/24 時間制切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” が切り替わります。



★「秒」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。

※秒が00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30～59のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）



★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓐ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制 (24) にご注意ください。
※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。
※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

6. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。